

灯そう、アイデアの光

<<<UDC・観海広場・観海ホールを対象とした「POP UP AREA」デザインの提案>>>

-Concept-

💡 デザインコンセプト 💡

「ちいさな光を見つけ、生み出し、つなごう」

POP UP AREA は子どもから大人まで、誰でも自由に使える場所です。

LAB の機材を使い、PARK や STUDIO で活動すると、やってみることがきっと見つかります。

POP UP AREA のスタッフが、みなさまのアイデアをつなぎ、ふくらませて、次のチャレンジへつなげていきます。

-Back ground-

💡 新地町のいま 💡

- 海里山のまとまりがある街だが、文化的・心理的に分断が見られる
- 街のために活動がんばっている人はたくさんいるが、情報共有など、横のネットワークが不十分

-Vision-

💡 POP UP AREA の役割 💡

① 駅前が賑わう日常の風景をつくること

交流人口や世代間交流の増加を期待。だれもが使う駅前を地域の拠点にする。

② 小さなやってみよう！を吸い上げ、つなげること

ひとりでは難しい規模の活動を生みだし、つなげると街全体のビジネスの情報網ができる。

③ 役所の手続きなどノウハウを共有して、住民のサポートをすること

やりたいことを諦めなくてよい街にする。

まちの方々の心をつなぐ拠点となる

生まれた光をサポートする場となる

POP UP LAB：ぼぶらぼ

アイデアが次々浮かび、誰でもやってみようことを機材を使って実践できる場。



POP UP STUDIO：ぼぶすた

勉強や音楽活動、大学生との交流など、中高生の発見の場。

POP UP PARK：ぼぶぱ

子どもたちのやりたいことを何でも叶える場。アイデアに基づいてブランコやバスケットコートなどを設置。



詳しい活動は POP UP AREA パンフレットへ



-Approach-

【1】POP UP AREA でのとりくみ



機材を設置
飲食コーナー
大看板をつくる
意見ボードの設置

×



イベントの開催
挑戦をサポートする

×



大学生と
オンラインで交流

【2】仕組みづくり

《まちの未来を描き、横のつながりをつくる》

1. “マスターコンセプト”を策定する
2. まちづくり懇談会をデザインする

《住民と役場の距離を縮める》

まちづくり懇談会やイベントで、住民のみなさんと役場の方々の交流を図り、小さな意見をすり合わせる

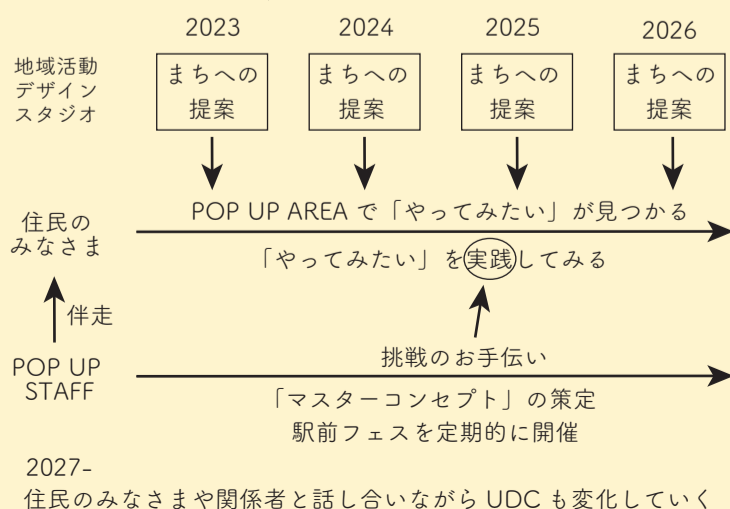
《SNS での発信》

まちづくり懇談会やイベントの様子を Instagram で発信



-Scheme-

💡 これからのとりくみ 💡



-Action-

第1回駅前フェスを開催！

- 手持ち花火大会**
受付をして花火をもらおう
PARK
- ものづくり体験教室**
つくれるもの例
・コースター
・キーホルダー
・アクセサリーなど
LAB
- オリジナルのかき氷づくり**
自分だけのかき氷をつくらう
LAB
- ベンチをDIYしよう**
POP UP PARK のベンチをみんなでつくらう
LAB
- しんちの食フェスタ**
出店予定 UDC×JAさん 観海プラザのみなさん
PARK